

# 自治連だより川越



- 発行—川越市自治会連合会
- 事務局—川越市役所 地域づくり推進課内  
川越市元町1-3-1 Tel 224-5705(直通)
- ホームページ <https://kawagoejichiren.jimdo.com>

## 主な記事

2面…霞ヶ関北支会の紹介  
編集後記

## 新型コロナウイルス感染拡大防止について

川越市自治会連合会 会長 本間 幸治



5月に新しい生活様式が発表され、日常的に手洗いうがい、マスクの着用、ソーシャルディスタンスを保つ等、会員の皆様には新型コロナウイルスの感染拡大防止にご協力いただきまして、ありがとうございます。また、医療従事者の皆様には、最前線で医療に当たっていただいておりますことに、この場をおかりして感謝申し上げます。

今後も新しい生活様式を守りつつ、誰もが感染しうるものだとすることを念頭に置いていただき、感染拡大防止に努めていただきたいと思います。

## 永年勤続自治会会長・副会長への表彰

例年、5月末の自治会連合会総会において、10年以上にわたり自治会活動にご尽力された自治会会長及び副会長を表彰しておりますが、今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、書面会議となったことから、表彰式は中止となりました。それに伴い、受賞者には8月に通知し、地域づくり推進課及び各市民センターにおいて、表彰状と記念品を贈呈しました。

### 永年勤続自治会会長

### 永年勤続自治会副会長

氏名	勤続年数	自治会名
原 亨 氏	10年	霞ヶ関東

氏名	勤続年数	自治会名
谷澤 清孝 氏	13年	仲町
坪 洋明 氏	12年	本町
三井田昭孝 氏	12年	霞ヶ関東
加畑 實 氏	11年	末広町2丁目
茂木 昭一 氏	10年	元町2丁目
吉田 正廣 氏	10年	小仙波町1丁目
川野 民一 氏	10年	新宿町4丁目
鈴木 敏之 氏	10年	武蔵野
昌子 諭 氏	10年	大塚新田



## 地域活動支援費

自治会連合会では、地域住民の福祉の増進及び連帯意識の高揚を図るため、各支会が実施する事業を支援しています。今年度は大東支会の「啓発用のぼり旗（交通・防犯）の製作及び地域巡回活動事業（10万円）」、霞ヶ関北支会の「地域ふれあいフロアーカーリング大会（5万4千円）」に交付することに決まりました。

## 霞ヶ関北支会の紹介

### 【霞ヶ関北支会の変遷】

霞ヶ関北支会は、昭和 41 年 6 月に川越市が霞ヶ関第 2 出張所を開設したことに伴い、6 自治会が霞ヶ関支会より分離し発足しました。以来、周辺地区の団地造成があり、令和 2 年 5 月 1 日現在、14 自治会で 8, 123 世帯、人口 1 万 7, 065 人で構成されています。

### 【霞ヶ関北支会はこんな街】

自治会は、大きな自治会もあれば小さな自治会もありますが、それぞれの自治会が工夫し、子どもから高齢者まで参加できる行事を実施してきました。今年は、新型コロナウイルスのため多くの自治会行事が残念ながら中止せざるを得ない状況です。

地区全体の行事としては、社協主催の地域ふれあい祭りがあります。一人暮らしの高齢者や障害のある方を招待し、ゲーム、バザー、食事等を地域の方々と一緒に楽しんでいます。

青少年を育てる霞北会議では、小学生による体験発表や東京国際大学での音楽祭を行っています。小学生・中学生・大学生が出演し、2月の厳寒のときですが会場内は熱気に溢れています。

2つの公民館登録サークルの発表会も毎年盛大に催され、地域の皆さんの楽しみの行事になっています。

霞北地区スポーツ大会は、子どもから大人までみんなが楽しめるもので、グラウンドゴルフ、ソフトバレー、ソフトボールに前回よりカーリングも加わりました。「参加することに意義あり」と言っていた人も次第に勝負にこだわっているようです。

### 【霞ヶ関北支会が目指す街】

この地区は、大規模な宅地開発によりできました。近年ライフスタイルの変化や価値観の多様性により地域コミュニティの希薄化が進んでいますが、いざというときは隣近所の助け合い、支え合いが必要です。支会では、地域の皆さんがいろいろな地域活動に参加していただき、明るい・住みやすい街づくりに努めています。



## 編集後記



カラスの鳴かない日はあっても「コロナ」を見聞きしない日はありません。マスクの着用、ソーシャルディスタンス、三密の回避、川越まつりの中止等々、息苦しい生活が強いられています。

医療従事者の方々への感謝の気持ちは皆さんお持ちでしょうが、一方でコロナによる「いじめ」が起きていることも直視してください。

私は、自治会長のやりがいを尋ねられたときに、「笑い声の絶えない安全・安心のまちづくりを目指して活動していますが、特に子どもたちとふれあう行事（納涼盆踊り、川越まつり、子ども会育成会の主催行事、高齢者と子どもたちとの世代間交流事業等）のときにやりがいを感じます」と答えています。一日も早くコロナが収束して、そんな日常が戻ってくることを祈って自治会活動を続けていこうと思います。

(H.S作)

(K.H)